

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	尼崎市立 園田中学校 職・氏名 教諭 伊藤 美幸	研究チーム名 ( 園田の数学教育を考える会 )
-----------------	-----------------------------	----------------------------

研究テーマ分類番号 ( 1 )

(1)研究テーマ
基礎基本を定着させ、考える力を育てる ～意欲を引き出す授業と家庭学習の習慣化を目指して～
(2)研究経過及び具体的な取組
<p><u>1 考える力を育てる授業研究について</u></p> <p>5月10日 研究計画について打ち合わせ(園田中学校) 内容:平成22年度の研究テーマについての打ち合わせ。</p> <p>5月13日 研究授業について研究会(園田中学校) 内容:研究授業担当で研究授業の共通実践項目を確認。</p> <p>7月30日 指導案について研究会(尼崎市教育総合センター) 内容:授業改善アドバイザーに作成した指導案の指導を受ける。</p> <p>8月4日 指導案について研究会(園田中学校) 内容:練り直しについて討議。</p> <p>8月12日 指導案について研究会(尼崎市教育委員会) 内容:大阪教育大学教授から指導を受ける。</p> <p>9月10日 指導案について研究会(園田中学校) 内容:練りなおした指導案について検討。</p> <p>10月26日 模擬授業(園田中学校) 内容:模擬授業で修正。</p> <p>11月8日 模擬授業(園田中学校) 内容:修正した授業の確認。</p> <p>11月15日 研究授業(園田中学校) 内容:「一般の2次関数のグラフを書いて考えよう」 充実コースとじっくりコースで同じテーマで実施</p> <p><u>2 基礎基本を定着させるための家庭学習を促す取り組み</u></p> <p>4月初めの授業から、B5サイズのプリントで、毎回宿題を課して、家庭学習を促している。</p> <p>1年:自作のプリント 内容(数計算) ・次の授業で答え合わせ。提出。</p> <p>2年:自作のプリント 内容(数計算、方程式、(一次関数、図形)) ・ は、その時学習している単元の問題。 ・ は、毎回同じパターンで数を変えて出題。 ・ 次の授業で答え合わせ。提出。 ・ 赤ペンを入れ、解き方を指導。</p>

- ・提出率の低い者は、学期末の放課後補充学習。

3年：市販のプリント 内容（表はその日の学習事項の反復、裏は応用問題）

- ・次の授業で答え合わせ。提出。

3年は、学年の取組である「ウィークリーワーク」の数学の時に、1・2年の復習プリント（自作B4）を課す。5教科を2教科ずつ順に回しているのので、5週間で2回の頻度で、2月末まで弱点を重点的に出題する。2学期は、1次関数に重点をおいて出題した。金曜日の朝「ウィークリーワークテスト」を実施し、成績の「表現処理」に加算した。

### 3 中学生による小学生のための割合講座 6 割合週間を全学年で実施

11月8日～12日（3年生は、実力考査のため若干翌週にずれこんだ）割合ドリル実施。

- ・3回練習（B5プリント、毎回同じパターン）

- ・4回目テスト（20点満点）

- ・平均点の推移は右表の通り

- ・18点以上の生徒から割合講座の指導希望者を募り、1月に勉強会を開き、2月初め小学校で「

割合講座」を実施予定。A小学校は、6年参加希望児童を放課後残して、B小学校は、授業時間に全6年生を対象に実施。

	1年	2年	3年
20年度	12.0	11.7	11.1
21年度	11.5	14.0	14.1
22年度	集計中	13.6	15.2

### 4 入学前算数テスト

1月から取組開始

	1年	2年	3年
20年度	15.4	15.6	16.5
21年度	15.2	15.9	16.1
22年度	15.3	15.4	17.4

### 5 分数週間を全学年で実施

6月7日～11日分数ドリル実施

- ・平均点の推移は右表の通り

### 6 希望制習熟度別少人数授業を1・3年生で実施

1・3年とも7クラスを4人で指導。12月生徒アンケートを取り、生徒の意欲や進度の適否を検証する。2年生は一斉指導であるため、同様のアンケートを2年生でも実施し、比較検討する。